



# 令和4年度 泉台小学校 学校経営方針



## <昨年度の成果>

- 学** 「書く」ことへの主体的な取組
- 心** 「認め」「価値付ける」取組の設定
- 体** 環境の整備、体力アップの工夫
- 欠** 楽しく登校、関係機関との連携
- 改** 若年研の継続、ICT 活用のスタート

## 学校教育目標

心豊かに たくましく生きぬく  
実践力のある 子どもの育成  
～ 自分の未来を、自分で切り拓く力を育む～

## <昨年度の課題>

- 学** 家庭学習の明確化、個別支援の工夫
- 心** 自己肯定感の育成、ルールの共有
- 体** 体育館改修に伴う加キョム、ICT の活用
- 欠** 保護者への啓発、キャリア教育や進路指導
- 改** 組織の見直しと活性化、ICT 推進

## 目指す学校像

- 新しい動向を捉え、子どものために生き生きと取り組む、ポジティブな学校
- ・職員一人一人の自己実現につながる場
- ・保護者、地域にとって信頼できる場
- ・子どもにとって登校が楽しい居場所

## 子どもと目指す「合い言葉」

- あ** あいさつをしよう
- い** 「いのち」を大切にしよう
- う** 美しい学校にしよう
- え** 笑顔でチャレンジ！自分を磨こう
- お** お話をしっかり聞こう

## 目指す教師像

- 個々のライフプランに沿って、目標を設定し、専門性・指導力の向上を目指す職員
- ・「チーム泉台」として、相互で支え合い、伸びていく職員（よりよい同僚性）
- ・一人一人の未来を支える力（**基礎学力、自立、自律、関係作り**）などを育む職員

## 今年度テーマ「人とつながる」・「未来へつなぐ」

(可能なら「い・ず・み・だい」Ver.を作成)

## 4つの重点目標と具体的な方策

### 1、**学**力・**体**力の向上

- 授業の質の向上⇒「教える」から「学ぶ」への転換
- ・朝自習の有効な活用（**週3日共通キョー**・2日は独自キョー）
- ・家庭学習の工夫と共有（**デジタルドリル**の導入も踏まえて）
- ・「ひまわり学習塾」の活用（3年生）本年度は裁量型へ
- ・「授業を見る」機会の確保（**主題研**・**若年研**の工夫）
- 体育館改修と、運動場の規模縮小に伴う「**加キョム**」の工夫
- ※ **ICT** の積極的な活用と、多様な指導（**専科**・**持合**）の工夫

### 2、豊かな**心**の育ち・長**欠**対応

- 児童の「**自己肯定感**」を育み、**未来へつなぐ**学びの創造
- ・「道徳科」「特活」（学活・学校行事など）の充実
- ・たてわり、異学年や保育園、年長者との交流、キャリア教育
- ・見取りと価値付け、学年を越えた意図的な連携
- ・支持的、共感的な**温かい学級**づくり⇔**ルールの共有と徹底**
- ・職員の人権意識の向上と**人権教育**（部落問題学習を含む）
- 保護者への積極的な「情報発信」と「啓発」

### 3、学校組織の充実と**改**善

- 「チーム泉台」としての意識
- ・「**組織**」作りと「**意識**」づくり⇒ **分掌・教科等部会**
- ・管理職への「報告・連絡・相談」の徹底
- ・生徒指導と保護者対応は「さ・し・す・せ・そ」
- ・情報共有と事故防止の具体的な取組（食物アレルギー等）
- **専門機関との積極的な連携**
- ・保護者対応、ケース会議、各種相談（SSW・行政など）

### 4、教師力、学校力の向上（**横断的な課題**）

- 教師の指導力向上
- ・**若年研**（泉ダイニング）の継承と充実
- ・「**主題研修**」の工夫と、「**人権教育**」との関係の**整理**
- ・客観的データの活用（見える化・評価・検証）
- ・各種調査の分析と活用（全職員による **PDCA サイクル**作り）
- **業務改善の推進**⇒教師の「心」と「時間」のゆとり
- **教師集団**が生き生きとつながり合う「児童のゴール」に

## 重点取組

- コロナ禍と大規模改修を踏まえた「新しい学校教育」**
- ・「できること」にフォーカスした行事や学びの創造
- ・**ICT** の積極的な活用と、その手立てや工夫の共有
- ・一人一人が「**実感**」できる**業務改善**
- ・**人材育成**（新採教員・若年教員）
- ・関係機関との積極的な連携

## 「チーム泉台」の基盤

- 信頼を大切に（「**綱紀粛正**」と「**人権意識**」）
- ・教育公務員としての「**自覚**」と「**誇り**」を大切に
- ・教師一人一人の「**人権意識**」を磨こう
- 児童・保護者を大切に → 「思い」「情熱」「**心の温度**」
- **自分を大切に** → キャリア形成の視点・働き方への意識  
ワーク・ライフバランスの向上を目指して